

## 世界かんがい施設遺産「見沼代用水」／史蹟・見沼代用水元坎公園



史跡 見沼代用水元坎公園



利根川からの見沼代用水元坎



見沼代用水元坎の概要



世界かんがい施設遺産「見沼代用水」石碑



現在の見沼代用水



見沼代用水と見沼元坎公園

見沼代用水は見沼溜井の代替用水として、享保12年（1728）、八代将軍・徳川吉宗公の命を受けた、井沢惣兵衛為永によって開発されました。

行田市須加の利根川から江戸までの総延長約80kmにも及ぶ灌漑用水路で、世界かんがい施設遺産にも登録されています。

昭和43年（1968）見沼代

用水は利根大堰から取水開始され、開発当時の元坎は廃止されて現在、史跡・見沼代用水元坎公園となっています。

文・写真：紺野 仁